



平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年10月9日

上場会社名 株式会社ナルミヤ・インターナショナル 上場取引所 東
 コード番号 9275 URL <http://www.narumiya-net.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 石井 稔晃
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員専務 管理本部 (氏名) 上田 千秋 TEL 03-6430-3405
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月12日 配当支払開始予定日 平成30年7月20日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の業績（平成30年3月1日～平成30年8月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	13,220	—	268	—	197	—	913	—
30年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	94.88	—
30年2月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成30年2月期第2四半期の四半期財務諸表を作成していないため、平成30年2月期第2四半期累計期間の数値及び平成31年2月期第2四半期累計期間の前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、平成30年6月29日付けで普通株式1株につき30株の割合で、株式分割を行っております。平成31年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、当社株式は平成30年8月31日において非上場であり、期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	12,432	2,252	18.1
30年2月期	2,162	2,162	99.9

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 2,251百万円 30年2月期 2,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	4,993.00	—	1,269.00	6,262.00
31年2月期	—	1,465.00	—	—	—
31年2月期（予想）	—	—	—	30.85	—

- (注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 当社は、平成30年6月29日付けで普通株式1株につき30株の割合で、株式分割を行っております。平成31年2月期の中間配当は、平成30年6月8日決議、同月29日効力発生であります。効力発生日と同日開催の臨時株主総会での定款変更を条件としているため、平成30年6月29日の臨時株主総会開催前の取締役会での決議による1株当たり配当金は、30分割前の金額を記載しております。
 3. 平成31年2月期の期末配当は、特別利益875百万円を控除した後の当期純利益にかかる配当性向30%、1株あたり30円85銭を予定しております。

3. 平成31年2月期の業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,802	—	1,767	—	1,635	176.3	1,879	215.8	192.55

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、平成30年6月29日付けで普通株式1株につき30株の割合で、株式分割を行っております。平成31年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期2Q	9,624,330株	30年2月期	9,453,030株
② 期末自己株式数	31年2月期2Q	—株	30年2月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期2Q	9,624,330株	30年2月期2Q	9,453,030株

（注）1. 当社は平成30年6月29日付で普通株式1株につき30株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

2. 当社は平成30年3月1日付で連結子会社でありました実質的存続会社の株式会社ナルミヤ・インターナショナルを吸収合併し、発行済株式数は171,300株増加しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当社は平成30年3月1日付で連結子会社でありました実質的存続会社の株式会社ナルミヤ・インターナショナルを吸収合併したことにより、連結子会社が存在しなくなったため、当事業年度より連結財務諸表非作成会社となりました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。なお、当社は前第2四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、米国の政策動向、中国経済の持続的成長への懸念など、先行きに不透明感はあるものの、企業利益の拡大や雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続きました。

また、当社の主力チャネルである百貨店やショッピングセンターにおきましては、3月及び4月の気温が平年より高く、快適な天候がプラス要因に働き、春物や初夏物が好調に推移しました。しかしながら、当第2四半期会計期間の大雨・台風などの天候不順とそれに伴う直営店舗の臨時休業等により、当第2四半期会計期間において、売上は伸び悩みました。

このような経営環境の中、当社は直営店舗において、当第2四半期累計期間に百貨店ではトドラーブランド「X-girl STAGES」(エックスガールステージス)などを中心に12店舗、ショッピングセンターではトドラーブランド「petit main」(プティメイン)及びジュニアブランド「Lovetoxic」(ラブトキシック)で12店舗を新たに新店致しました。

既存店舗では、百貨店で展開しているトドラーブランド「ANNA SUI mini」(アナスイ・ミニ)、「X-girl STAGES」、ショッピングセンターでは「petit main」、「Lovetoxic」がともに堅調な売上で推移しております。

また、eコマースは昨年年末に実施したスマートフォンのユーザインタフェースの改修や、新規会員の獲得キャンペーンの施策が効果を発揮し、順調な売上となっております。

この結果、当第2四半期累計期間におきましては、売上高13,220百万円、営業利益268百万円、経常利益197百万円、四半期純利益913百万円となりました。

なお、当社は平成30年3月1日付で連結子会社である実質的存続会社の株式会社ナルミヤ・インターナショナルを吸収合併いたしました。これに伴い、抱合せ株式消滅差益875百万円を特別損益に計上しております。

また、当社はベビー・子供服の企画販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の経営成績に関する記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産は12,432百万円となり、前事業年度末に比べて1,133百万円の減少(合併による増加11,403百万円の影響を除く)となりました。これは主に、リース資産(純額)が87百万円、差入保証金が82百万円増加したものの、現金及び預金が826百万円、商品が137百万円、未収還付法人税等が402百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は10,179百万円となり、前事業年度末に比べて299百万円の減少(合併による増加10,479百万円の影響を除く)となりました。これは主に、短期借入金が500百万円、賞与引当金が71百万円、リース債務が133百万円、その他流動資産が58千円増加したものの、買掛金が507百万円、未払金が126百万円、未払法人税等が242百万円、長期借入金が225百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は2,252百万円となり、前事業年度末に比べて833百万円減少(合併による増加923百万円の影響を除く)となりました。これは主に、四半期純利益の計上37百万円(合併に伴う抱合せ株式消滅差益875百万円の計上を除く)及び剰余金の配当869百万円により利益剰余金の額が832百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の業績予想につきましては、平成30年9月6日の「東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,241	1,158,155
受取手形及び売掛金	-	2,132,503
商品	-	2,858,532
前払費用	-	67,843
未収還付法人税等	402,803	-
繰延税金資産	4,294	240,294
その他	-	107,486
貸倒引当金	-	△6,419
流動資産合計	421,338	6,558,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	-	1,170,010
減価償却累計額	-	△992,287
建物及び構築物(純額)	-	177,722
工具、器具及び備品	-	63,628
減価償却累計額	-	△54,851
工具、器具及び備品(純額)	-	8,777
土地	-	5,940
リース資産	-	1,863,770
減価償却累計額	-	△941,067
リース資産(純額)	-	922,702
有形固定資産合計	-	1,115,143
無形固定資産		
のれん	-	3,218,193
ソフトウェア	-	39,392
リース資産	-	44,958
その他	-	10,000
無形固定資産合計	-	3,312,544
投資その他の資産		
投資有価証券	-	31,369
関係会社株式	1,740,914	12,489
長期前払費用	-	25,862
差入保証金	-	1,038,446
破産更生債権等	-	49,952
繰延税金資産	-	115,055
その他	-	215,516
貸倒引当金	-	△42,267
投資その他の資産合計	1,740,914	1,446,424
固定資産合計	1,740,914	5,874,112
資産合計	2,162,253	12,432,508

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	-	2,051,564
短期借入金	-	500,000
1年内返済予定の長期借入金	-	450,000
リース債務	-	346,404
未払金	-	301,299
未払費用	-	515,134
未払法人税等	-	128,538
賞与引当金	-	162,327
返品調整引当金	-	8,248
ポイント引当金	-	20,889
その他	-	192,960
流動負債合計	-	4,677,367
固定負債		
長期借入金	-	4,550,000
リース債務	-	720,657
退職給付引当金	-	231,745
その他	-	75
固定負債合計	-	5,502,478
負債合計	-	10,179,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	1,567,710	1,615,675
利益剰余金	583,103	626,399
株主資本合計	2,160,813	2,252,075
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	-	△852
評価・換算差額等合計	-	△852
新株予約権	1,440	1,440
純資産合計	2,162,253	2,252,662
負債純資産合計	2,162,253	12,432,508

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	13,220,312
売上原価	6,169,818
売上総利益	7,050,494
販売費及び一般管理費	6,782,488
営業利益	268,006
営業外収益	
受取利息及び配当金	76
保険解約返戻金	4,122
仕入割引	682
雑収入	2,885
営業外収益合計	7,766
営業外費用	
支払利息	36,324
合併関連費用	15,954
上場関連費用	22,013
雑損失	3,771
営業外費用合計	78,063
経常利益	197,709
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	875,840
特別利益合計	875,840
特別損失	
固定資産除却損	12,577
減損損失	17,819
解約違約金	550
特別損失合計	30,948
税引前四半期純利益	1,042,602
法人税、住民税及び事業税	90,454
法人税等調整額	39,000
法人税等合計	129,454
四半期純利益	913,147

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,042,602
減価償却費	224,915
差入保証金償却額	43,964
減損損失	17,819
のれん償却額	88,982
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	△875,840
固定資産除却損	12,577
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△403
賞与引当金の増減額(△は減少)	71,995
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△14
ポイント引当金の増減額(△は減少)	4,223
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,112
受取利息及び受取配当金	△76
支払利息	36,324
売上債権の増減額(△は増加)	8,042
たな卸資産の増減額(△は増加)	137,119
仕入債務の増減額(△は減少)	△507,664
未払費用の増減額(△は減少)	10,475
未払消費税等の増減額(△は減少)	22,005
その他	△203,637
小計	141,522
利息及び配当金の受取額	76
利息の支払額	△32,289
法人税等の支払額	△312,364
法人税等の還付額	403,753
営業活動によるキャッシュ・フロー	200,698
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△108,202
無形固定資産の取得による支出	△6,025
投資有価証券の取得による支出	△662
保険積立金の積立による支出	△14,670
差入保証金の差入による支出	△124,802
差入保証金の回収による収入	5,362
その他	△37,582
投資活動によるキャッシュ・フロー	△286,582
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	500,000
長期借入金の返済による支出	△200,000
リース債務の返済による支出	△170,921
配当金の支払額	△869,851
財務活動によるキャッシュ・フロー	△740,772
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△826,656
現金及び現金同等物の期首残高	14,241
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,970,569
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,158,155

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年3月1日付で連結子会社でありました実質的存続会社の株式会社ナルミヤ・インターナショナルを吸収合併し、同社の普通株式1株につき、当社の普通株式1株を割当て交付いたしました。当該合併により、第2四半期累計期間において資本剰余金が47,964千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本剰余金が1,615,675千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)

当社はベビー・子供服の企画販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。